



本機は車から出力される「車速パルス」とGPSのデータをもとに設定した「車速補正係数」を利用して距離を算出しています。（全自動距離補正システム）

このシステムを利用して、地図画面上の自転車マークと、実際の自転車位置との誤差が自動的に補正され、現在地を正確に表示することができます。

ただし、次のような場合は、地図画面上の自転車マークが実際の自転車位置に表示されない場合があります。

- 初めて使用する場合
- 同じ車で、違うタイヤに交換した場合
- 同じ車で、タイヤをローテーションした場合
- 本機を別の車に載せ替えた場合

見通しの良い道路をしばらく（約30分）走行すると、自転車位置の誤差が補正されます。

それでも自転車位置が正しく表示されないときは、取り付け・配線を確認し、正しく接続されているようであれば、距離補正をリセットしてください。（➡右ページ）

走行時のお願い

オープニング画面が終了するまでは発進させないでください。平均時速20km以上で見通しの良い場所を走行してください。

お知らせ

市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。3Dセンサーの補正完了まで、50kmぐらいの走行を要する場合があります。車種によっては、補正処理を行っている間にスピードをあげると自転車マークが動かなくなることがありますが、故障ではありません。

車速補正係数について

車速補正係数は車によって値が異なります。本機は、GPSのデータを用いて、それぞれの車に合った車速補正係数を自動的に設定します。また、タイヤの摩耗度や空気圧によっても値が変動するため、本機は常に車速補正係数を補正しています。

距離補正の精度（学習レベル）について

距離補正の精度は「学習レベル」で表され、レベル3が最も誤差の少ない状態です。

距離補正をリセットするには

取付チェック画面（➡16ページ）で距離補正 [車速パルス、学習レベル、ジャイロ角度補正、3Dセンサー（➡118ページ）] をリセットしてください。



- 車速パルス
パルスリセット を選ぶと、車速パルスが0になります。
- 学習レベル（距離補正の精度）
（レベル3が最も誤差の少ない状態）
レベルリセット を選ぶと、レベルが1になります。
- ジャイロ角度補正
補正リセット を選ぶと、未補正になります。
- 3Dセンサー
センサーリセット を選ぶと、未補正になります。

ジョイスティックで選んで、押し決定



距離補正をリセットしたら...

- ① 現在地 を押して、現在地画面を表示させ、GPS信号を受信していることを確認してから、
- ② 見通しの良い道路をしばらく（約30分）走行してください。

走行中、自転車マークが実際の自転車位置と同じ場所に表示され、自転車の動きと共に動いていれば、全自動距離補正システムは正しく働いています。